

令和6年度 音楽科 授業改善推進プラン

大田区立館山さざなみ小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・行事等で音楽を発表する場をつくり、全校児童で同じねらいをもち、活動に意欲的に取り組むことができた。
- ・歌唱では、対話的学習を取り入れ、表現の仕方を磨いていくことができた。
- ・合奏では、全体の様子を見て、音の強弱や抑揚などの工夫を意識させ、演奏できるようにすることができた。
- ・いろいろな楽器に興味をもち、合奏やリズム遊びなど、高さや長さの違う音を友達と合わせて音楽を楽しむことができた。

(2) 課題

- ・学年によっては、少人数の為、合唱や合奏等でのパートの割り振りが少なくなってしまう。児童が様々な楽器の音の重なりを感じることができるよう、内容や授業形態の工夫をしていく。
- ・歌唱の学習において対話的学習を取り入れ表現を深めていくようにする。
- ・合奏では、技能の差があるので、個に応じた指導が必要である。特に、リコーダーの演奏では、指使いやタンキング、息の強さなどを確認しながら演奏できるようにしていく。

2 授業改善のポイント（観点別）

(1) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・歌唱では、範唱を聴いたり、音の高さのつながりを確認したりすることを通して、丁寧な歌い方やきれいな発音に気付くようにする。 ・合奏では、楽器の音色の特徴や音の重なり的美しさに気付かせる。また、ゆっくりとしたテンポ、易しいリズムや旋律から取り組ませ、できたという経験を積み重ねながら指導していく。	・鑑賞活動では、曲を聴いて感じたことや考えを伝え合うことを通して、曲のよさを味ったり、考えを広げたりさせる。 ・合奏・合唱では、音楽を形づくっている要素に気付かせ、曲の美しさやよさ、合わせることの面白さを味わわせていく。 ・ICTのタブレットを活用し、奏法について学んだり、自分の奏法を見返し、改善したりすることができるようにする。	・活動に楽しみながら取り組めるよう、簡単な曲を歌ったり、リズム遊びをしたりして、日頃から様々な音楽に親しませる。 ・合奏や合唱では、自分のパートの演奏をやりとげることができるよう、励ましながら個に応じた指導を重ねていく。

(2) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・歌唱では、曲を聴く時のポイントを与え、雰囲気気付かせる。また、母音や子音、濁音や鼻濁音などの発音や音の高さに注意して歌えるようにする。 ・合奏では、主な旋律、副次的な旋律に着目させたり、曲想の変化に気付かせる。また、曲に合った表現ができるように、ゆっくりとしたテンポ、易しいリズムや旋律から取り組ませ、できたという経験を積み重ねながら指導していく。	・合奏や合唱では、例を示したり、ポイントを絞ったりしながら、取り組ませることで、表現しやすいようにする。 ・合奏や合唱の機会を多くもち、何度か繰り返し行う中で、曲の雰囲気や曲想を意識した表現を話し合いの中で考えさせる。 ・ICTのタブレットを活用し、演奏を見返すことで、曲にふさわしい奏法を考えたり、友達の演奏の良さを見つけたりすることができる。	・活動に楽しみながら取り組めるよう、簡単な曲を歌ったり、リズム遊びをしたりして、日頃から様々な音楽に親しませる。 ・合奏や合唱では、自分のパートの演奏をやりとげることができるよう、励ましながら個に応じた指導を重ねていく。

